

# シルバー やまがた

第151号 令和5年7月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター  
正会員数1,176名 賛助会員 33個人・64団体(5月末現在)



理事長挨拶

## —— 内容紹介 ——

- |    |                                 |      |                           |
|----|---------------------------------|------|---------------------------|
| P2 | 令和5年度 定時総会あいさつ                  | P8~9 | 会員のひろば                    |
| P3 | 令和5年度 受賞者紹介                     | P10  | 新入会員研修会を開催<br>安全・適正就業強化月間 |
| P4 | 令和4年度 事業実績報告<br>令和5年度 重点課題と事業計画 | P11  | 就業会員を訪ねて<br>新入会員紹介        |
| P5 | 令和5年度 定時総会を開催                   | P12  | 事務局だより                    |
| P6 | 新役員紹介                           |      |                           |
| P7 | 地区世話役・役員互助会幹事紹介                 |      |                           |

令和五年度

# 定時総会あいさつ

理事長 長 瀬 洋 男



入するなど、情報化時代に即した対応を進めてまいります。皆様からも、会員の拡大に向けてより一層のご協力をお願い申し上げます。

また、今年度は当センターの「中期事業計画」の四年目です。引き続き「自主・自立、共働・

共助」を基本に、事業の質的向上と量的拡大を着実に推進してまいります。

さて、本年十月より消費税の「インボイス制度」が実施されます。この制度が実施されますと、三年間は二%、続く三年は五%の経過措置を経て、令和十一年十月からは配分金に十%課税されることとなり、センター運営が困難になることが危惧されております。

当センターでは、これまで行政に対して要望活動を行うと

もに、料金の値上げ等について発注者への丁寧な説明を行ってまいりました。さらに、インボイス制度実施による負担増の激変を緩和するために、令和三年度から特定費用準備金を積み立てるなど、様々な対策に取り組んでおります。

しかし、インボイス制度がセンターに及ぼす影響はとて大きいため、関係各位様に、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様からも、生涯現役社会の実現のために、センター事業へのご協力をお願い申し上げます。さつとさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症が第五類に移行され、令和五年度定時総会を通常に開催することとなりました。日頃より、山形市シルバー人材センターの事業に対して、会員並びに賛助会員、そしてご来賓の方々の、ご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

令和四年度末の会員数は、コロナの影響で普及啓発活動が十分できなかったことにより、一、三二二名と前年度とほぼ横ばいの状況でございました。

事業実績ですが、令和四年度の請負事業については堅調に推

移した結果、契約金額が四億九千二百万円、また派遣事業はスパーや介護施設等の受注拡大等により、契約金額は昨年度から約二千万円増の一億三千六百万円となり、過去最高額となりました。

安全就業につきましては、残念ながら事故が三件発生してしまいました。引き続き事故ゼロを目標に、安全意識の徹底に取り組んでまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。令和五年度は、会員拡大に向けて、今年度よりインターネットによる申し込みシステムを導

入るなど、情報化時代に即した対応を進めてまいります。皆様からも、会員の拡大に向けてより一層のご協力をお願い申し上げます。

# 令和5年度 感謝状・表彰状受賞者

## 1. 役員表彰（5名）

役員として、2期以上にわたりセンター発展に多大なる貢献し、退任される方

職名	氏名	職名	氏名
理事	本木康晴	理事	塩野美智子
理事	高野昭英	理事	成田巖
理事	佐藤明		

## 2. 正副班長及び組長表彰（4名）

地区班 正副班長及び組長として、5年以上在任し、退任される方

地区名	氏名	地区名	氏名
第6地区	村上清志	滝山1地区	今井秀夫
鈴川3地区	藤田清	金井地区	今田一夫

## 3. 会員表彰（49名）

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地区名	氏名	地区名	氏名
第2地区	片桐和子	飯塚・樫沢地区	横尾悦郎
〃	中橋みち子	〃	長岡文男
第3地区	武田喜栄子	東沢地区	會田健治
第4地区	齋藤英夫	〃	荒井幸男
〃	田中栄子	〃	竹石榮子
第5地区	阿部宜久	〃	神保辰男
〃	榊京子	〃	板垣源太郎
第6地区	那須博	〃	武田政弘
〃	河田章	〃	山口堅吉
第7地区	岡崎保博	滝山1地区	土田一夫
〃	漆山厚子	〃	安達康裕
西地区	稲村利喜男	〃	今田宜秀
第9地区	佐久間三男	〃	丸川勝良
〃	船山孝雄	金井地区	穂保陽之助
第10地区	秋葉雅弘	〃	鈴木隆
〃	瀬野健四郎	大郷地区	遠藤長男
鈴川3地区	武田ゆき子	南山形・本沢地区	高木豊
〃	大久保義信	〃	古頭修一
〃	倉本敏行	〃	鈴木啓子
〃	高橋忠昭	南沼原地区	中津川善己
千歳地区	東海林静雄	〃	栗野裕子
飯塚・樫沢地区	安孫子司郎	〃	笹原秀昭
〃	吉田光一朗	〃	茂木好博代
〃	安食仁	〃	中川恒代
〃	山本恭子		

## 令和4年度 事業実績報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が我が国の生活や経済に深刻な影響を与えました。当センターで予定した事業の多くは中止を余儀なくされましたが、デジタル技術を活用した広報活動など、コロナ禍に対応した新たな取り組みを始めました。令和4年度は「中期事業計画」に基づき会員拡大に取り組みましたが、令和3年度から5人減の1,312人となりました。

事業実績は、請負事業においては堅調に推移し、契約金額は昨年度より8,774千円増の492,045千円となりました。派遣事業は受注拡大等もあり順調に推移した結果、契約金額は前年度対比19,549千円増の136,073千円となりました。合計では過去最高の金額となっております。

(詳しくは令和5年度定時総会議案書をご参照ください。)

### 令和4年度事業実績

項目	4年度実績	3年度実績	比較
正会員数	1,312人	1,317人	△5人
契約金額	492,045千円	483,271千円	8,774千円
就業延人数	114,068人	113,720人	348人
受託件数	5,005件	5,019件	△14件
派遣事業 契約金額	136,073千円	116,524千円	19,549千円

## 令和5年度 重点課題と事業計画

我が国の総人口は長期的な減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者人口は上昇を続けております。令和4年9月現在、65歳以上の高齢者人口は3,627万人となり、総人口に占める割合も29.1%と上昇を続けています。少子高齢化が進行し労働力人口が減少する中、生涯現役を掲げるシルバー人材センターの役割は地域社会活性化のため、ますます重要になっております。高齢者の意欲と能力に応じた就業機会を確保し、社会を支え続ける高年齢者を増やしていくことが急務となり、就業機会の拡大、職域の拡大と併せ、積極的に会員の拡大を図ることが大変重要になっております。

当センターでは、「会員100万人達成計画」を目標に、会員拡大に取り組みます。また、シルバー人材センター事業においては、「中期事業計画」に基づき事業に取り組んでおり、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営の推進に取り組んでまいります。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの事業が中止を余儀なくされましたが、デジタル技術を活用した広報活動や、インターネットによる入会システムの導入など、デジタル化に対応した新たな取り組みを始めております。

(事業計画や予算等、詳しくは令和5年度定時総会議案書をご参照ください。)

### 重点課題

1. 新入会員増と退会会員の抑制の取組み
2. 会員の資質の向上
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 派遣事業の推進
5. 会員組織の充実と活性化
6. 安全就業推進の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保



女性部会施設見学会

# 令和5年度定時総会を開催

六月七日（水）午後三時より、ホテルメトロポリタン山形において令和五年度定時総会が開催されました。

過去三年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、出席者制限のなか開催して参りましたが、今回は四年ぶりに制限を設けず通常開催されました。多くの会員の皆様が出席され、久しぶりの再会に元気な笑顔で溢れていました。

本木副理事長の開会挨拶、長瀬理事長の挨拶、来賓各位の挨拶後、引き続き感謝状と表彰状の贈呈が行われました。

事務局より定足数報告があり、出席者一〇四名、委任状による議決権行使者八六九名、合せて出席者は九七三名となり、会員総数（一、一七六名）の八二・七％に達し、総会は成立しました。

議長に山口重雄会員（金井地区）を選出し、議事が進行されました。

報告事項四件、議案事項二件について、事務局より議案の主旨説明があり、審議の上、裁決を諮り、満場一致で承認されました。また、新役員の紹介（六頁参照）が行われ、令和五年度定時総会は滞りなく終了しました。社会全体が今、大きく変化しようとしています。会員の皆様も健康で充実した生活を取り戻し、益々のご活躍を期待いたします。



役員受賞者



世話役受賞者



会員受賞者



総会風景

新役員紹介

理事会



理事長(代表理事)  
長瀬洋男  
(市推薦)



副理事長(代表理事)  
結城正夫  
(滝山一地区)



常務理事(業務執行理事)  
佐藤雅俊  
(市推薦)



理事  
松浦雄大  
(市推薦)



理事  
渋谷誠一  
(市都市振興公社推薦)



理事  
平山尚  
(滝山一地区)



理事  
福田美知子  
(金井地区)



理事  
岸英一  
(西部地区)



理事  
齋藤英夫  
(第四地区)



理事  
岸純一  
(第十地区)



理事  
土田トク子  
(滝山一地区)



理事  
山泉晶子  
(鈴川三地区)



理事  
高橋眞一  
(第六地区)



理事  
金澤忠次  
(第二地区)



監事  
佐藤利彦  
(滝山一地区)



監事  
安食仁  
(飯塚・樺沢地区)

専門部会

◎は部会長および委員長  
○は副部会長および副委員長

《総務部会》

◎ 平山尚  
◎ 福田美知子  
◎ 板垣源太郎  
◎ 西塔浩二  
◎ 土屋吉広  
◎ 永橋憲昭  
◎ 松浦雄大

《女性部会》

◎ 土田トク子  
◎ 山田晶子  
◎ 大友智恵子  
◎ 伊藤美喜子  
◎ 豊田孝子  
◎ 池田悦子  
◎ 大沼美智子

《広報部会》

◎ 齋藤英夫  
◎ 岸純一  
◎ 菅井廣  
◎ 高橋俊二  
◎ 岩井洋隆  
◎ 齋藤隆強

《事業部会》

◎ 結城正夫  
◎ 岸英一  
◎ 安部正次  
◎ 伊藤繁安  
◎ 鹿野栄子  
◎ 原田好雄  
◎ 渋谷誠一

《安全就業推進委員会》

◎ 高橋眞一  
◎ 金澤忠次  
◎ 尾崎秀雄  
◎ 加藤政吉  
◎ 八嶋國夫  
◎ 井上たみ  
◎ 漆山厚子  
◎ 小関誠一  
◎ 遠藤隆吉

地区世話役

Table with 4 columns for regions (東, 千, 鈴川, 鈴川) and 4 columns for regions (西, 第, 第, 第), listing names for various roles like 班長, 副班長, 組長.

会員互助会幹事

List of officers including 会長 伊東義雄, 副会長 山川良男, 幹事 菅井和廣, etc.

監事 那須博 (第六地区)

監事 岩井文子 (第八地区)

会員互助会顧問・相談役

顧問 長瀬洋男 (理事長)
相談役 佐藤雅俊 (常務理事兼事務局長)

退任役員紹介

副理事長 本木康晴
理事 高野昭英
理事 佐藤明
理事 塩野美智子
理事 成田巖
理事 浅野優步
理事 中村広志

趣味のゴルフを通して



南沼原地区  
小関 誠一

ゴルフを始めて十五年。実に面白いスポーツである。

その人の性格が、全て現れる。上手く打てなくて「グリップがゆるんだから」とか「ボールをちゃんと見ていなかった」とか下手な言い訳をする人の何と多いことか。

更に見かけるのが、頭にきてクラブをたたきつけたり、ひど

い時は、へし折ってしまう人もいる。

これでは、クラブもたまったものではない。そして、その人の人格も問われることになると思う。

そういう私も、やり始めた頃は言い訳やクラブにあたってたりしたものだ。今考えると、一緒にプレーした人にいやな思いをさせたのではとつくづく反省させられます。

誰でも上手くいくと、言い訳なんかしません。失敗すると「グチ」を言ったり物にあたりたりすると思います。しかしそれだけで終わってしまつては、同じことの繰り返しです。

きちんと反省し、何をどういうふう直していけば良いのか、考え実行していく事が、うまくなる「コツ」です。

更にいろいろ考えることによつて心身の成長へもつなが

ていくと思えます。

今後も、身体と相談しながらゴルフを継続し、シルバーライフを楽しんでいけたらと思つている今日この頃です。

私の愉しみ



南沼原地区  
御船 勉

シルバー人材センターの会員として、今年二月から山形駅東口交通センター勤務を紹介して頂き、まだ半人前ではありませんが、先輩方のご指導を頂きながら働いております。

さて、私の趣味についてお話しさせて頂きます。私は子供の頃から乾電池やモーターが好きで少年でした。テレビ、ラジオから流れる歌謡曲等を聴きながら育つたことが今の趣味につながつていると思っております。

オーディオは仕事や年齢に関係なく人との交流があり、今でも仲間同士行つたり来たりして、お互いの再生装置から出る音に、機器の型番は何だとか、高音がどうの低音がどうの、音が柔らかいかとか艶がある等、普通の人にはどうでも良いことを言い合つて楽しんでおります。

聴くジャンルはゆつくりした時のクラシック、ジャズにリズムをとつときめき、昔の歌謡曲、ポップスを聴くと若い頃にタイムスリップすることができます。

時間があるときには、豆を挽きコーヒーを飲みながらゆつくり音楽を聴きくつろいだ一時を愉しんでいます。





# 多員の

## 健康・趣味

### 私の手仕事



第十地区  
伊藤美喜子

私は、シルバー会員として働かせていただいで二年目になります。仕事をさせていただく事の有り難さや、時間の使い方をこの年になって考え直すことばかりです。

私は、自分の時間には、小さい頃から好きでいつのまにかそうしていないと落ちつかない手芸に勤しんでいます。私が、小学

三、四年生の頃、祖父母の世話や仕事で寸分の暇もない母が編み物を教えてくれました。急に何が始まったのか分かりませんでした。急がしたが、一本の糸からできていく物にとっても感動したのでした。エンジの色の毛糸、それもたぶん余り毛糸。それからまず鎖編み・細編みそれが出来たら長編みと何回もほだいては練習させられました。後にも先にも母が教えてくれたのはこの三つだけ。それからは自力で本と戦いました。

編み物から始まり、ビーズ・パッチワークと色々挑戦しています。私にとって手芸は、単なる趣味に留まらず、私自身をなぐさめてくれるもの、また人に喜んでいただけるものになりました。これからも、楽しみながらどんな時も寄り添ってもらえる手仕事をしながら日々を充実させていきたいと思えます。

## やまがた文化の回廊フェスティバル

三月十七日から二十六日にかけて「やまがた文化の回廊フェスティバル」がありました。やまぎん県民ホールや文翔館などの会場でコンサートやマルシェなどのイベントが開催されました。

最終日に山形テルサオープンハウスがあり、山形市SCは、会員による作品展示という形で参加しました。愛好会から作品出展と、女性部会のバザーも開きました。今回のバザーは初めて男性会員からも未使用品を募りました。互助会役員による会場設営・撤収をはじめ多くの会員の方のご協力いただきました。ありがとうございました。

事務局では、規模を縮小した入会説明会を行い、映像やスライドショーでSCの説明や活動の様子を会場に映しました。一般の来場者の方へSCを周知するとともに、新規入会のきっかけ作りとなりました。



会場風景

## 再開しました！ 新入会員研修

総務部会長 平山 尚

四月二十五日にコロナ禍で中断していた「新入会員研修会」を三年ぶりに開催しました。総務部会が実施担当として待ちに待った行事でした。

当日は、理事長・各専門部会長・互助会長と事務局が新入会員へ挨拶・説明を行いました。新入会員の出席者はやや少なめでしたが、今後は徐々に増えると思います。

この研修会は、センターの目的・基本理念について理解を深めると共に、就業における心構えの認識を深め、今後の就業に際して共通認識を得ると共に、会員の意識向上をはかる重要な研修です。

研修の内容は、シルバー人材センターの概要説明と再確認、就業に当たっての留意事項を事務局より説明を行い、続いて各専門部会長、互助会長より活動について説明が行われました。各部会長の皆さんも久しぶりの研修会で、予定時間をオーバー

する程熱の入った説明でした。新入会員の皆さんも真剣に聞き入っております。

新入会員の皆さんは様々な不安を持って就業することになります。受け入れる先輩会員の方は、温かく迎え入れていただきたいと思えます。

今度も年二回の研修会を実施します。次回は九月を予定しております。より魅力ある研修会を目指しますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



## 安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 高橋 眞一

令和五年度スローガン

『安全は無理せず 焦らず 油断せず』

令和四年度は、事故ゼロを目標に事故防止活動に取り組んできましたが、残念ながら就業中に三件の事故が発生しております。

各地区SCがそれぞれ連携して強化月間中活動してまいります。  
【取り組み事項】  
一、安全就業推進委員会の開催  
二、事故ゼロを目指した活動の推進

本年度は、会員各自がこれまで以上に事故防止に努めていただきます。事故が発生した場合はその要因を明確にして、安全はすべてに優先するという意識を高め、事故や怪我のない職場環境を作ることが大切だと考えております。そのため、各地区班及び、職群班とともに連携協力を密にし、事故防止活動に取り組んでまいりたいと考えております。県内の他のSCでは、残念ながら死亡事故が発生しており、事故防止は最重要課題と考えております。

さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・

- ・ 安全保護具の完全着用の徹底(安全帽・安全帯等の装着)
- ・ 機械器具、安全保護具の点検整備
- ・ 緊急連絡カードの携帯徹底
- 三、安全意識高揚策の充実
- ・ 安全標語の募集と優秀作品の表彰
- ・ 事故再発防止対策の徹底
- 「重大事故速報」や「安全就業推進委員会だより」の発行で再発防止の喚起
- 四、会員の健康管理意識高揚
- ・ 総合健康診断の受診を推奨
- 五、就業途上の交通事故防止

# 就業会員を訪ねて

## 筆耕班紹介

山形市SCには、賞状の全文書き・名入れ、宛名書き等を請け負っている筆耕班がいます。市役所や学校、企業等からの依頼を受け、一筆一筆丁寧に書き上げます。筆耕班では月二回、錬成会を開催しています。筆耕班リーダーの下、注意事項を確認・共有し、表現技法などを学びます。見本の原稿や自分の書いた字だけでなく、他の会員が書いた字を見ることも、学びになるそうです。

筆耕班に所属する会員は、今まで筆耕に携わっていた方や、経験がない初めての方など様々です。そのため、仕事を受けることができる基準が必要です。適性と公平性を図るために年一回、筆耕実務審査会があります。毎年二つの課題が配布され、ご自宅で答案を仕上げても構いません。提出された答案は、事務局二名・筆耕班二

名・担当理事で構成された審査委員が判定します。審査のポイントは、仕上がり（答案の汚れやしわ等）、筆づかい、文字の間隔やバランスなど五つの項目です。この審査会での合否が、次の審査会までの就業の可否になります。

今年も五月二十二日に審査会がありました。今回は十一名の筆耕班が参加し、次回の錬成会で答案の添削指導と個別に講評が筆耕班リーダーから行われます。よりよい仕事を追求するため、日々、向上と改善を怠りません。（事務局）



筆耕実務審査会

## 新入会員紹介

鈴川二地区	第九地区	第九地区	第八地区	西地地区	第七地区	第六地区	第五地区	第四地区	第三地区	第二地区																
古瀬 忠弘	鈴木ひろ子	柴崎 哲	山口 正幸	太田 正啓	高野 吉一	後藤 浩	今野 良和	岩井 信雄	吉田 和志	延本 明美	三原 良子	笹原とみ子	長沼 玉江	大場 浩	石山 明雄	斎藤 節子	奥山 準一	山澤 敏秀	稲田 雅子	渡邊 智雪	小口 功一	荒井 俊行	江場佐登志	本間 悟	大場 博文	
南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区	南沼原地区
石川 勉	折原 昭悦	伊藤 哲雄	江口 晃	山口 始	豊田 幸一	庄司由岐子	庄司 穂子	松岡 典男	高橋 直樹	伊豆田健列	佐藤 義之	後藤 肇和	鈴木 京子	石山 喜信	後藤 喜信	荒木 泰子	岡田 和子	佐藤 礼子	柳田 好子	小関幸五郎	加藤美紀子	森谷 典子	千歳 地区	飯塚・樺沢地区	千歳 地区	

# 事務局だより

(脚)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(0)23(6)4716647

## 新事務局職員紹介



井上真紀子

令和五年四月より  
嘱託職員



奥山 専弘

令和五年四月より  
嘱託職員

## 事務局紹介

常務理事(兼)事務局長 佐藤 雅俊  
業務課長 菅野 千春

### 業務係

主任 原田 弘之  
主事 石川 基

嘱託職員 平田 悦一  
嘱託職員 高橋 沙織  
嘱託職員 奥山 専弘

### 総務係

係長 斎藤 康子  
嘱託職員 佐藤 弥生  
嘱託職員 井上真紀子

お知らせとお願い

### 配分金支払日

- 七月二十日(木)
- 八月十八日(金)
- 九月二十日(水)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 七月六日(木) 十三日(木) 二十日(木)
- 八月一日(火) 七日(月) 二十一日(月)
- 九月七日(木) 十五日(金) 二十一日(木)

### 就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 七月十二日(水)
- 八月九日(水)
- 九月十三日(水)

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

### 年度会費は傷害保険料に充当

### 会員傷害保険料(一人あたり)

二千百九十円

### 総会議案書・会報印刷費等

九百円(うち、三百円を充当)

### 会報一五〇号お詫びと訂正

会報一五〇号の掲載内容について、次のとおり誤りがありました。訂正についてお知らせするとともに深くお詫び申し上げます。

#### 【掲載箇所】

女性部会だより(4ページ)

#### 【内容】

○ 又、折り紙教室で作った十三名の紅花も華やかに飾られました。

× 又、折り紙教室で作った三名の紅花も華やかに飾られました。

## 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます  
第三地区

鈴木美智子さん(七十六歳)

出羽・明治地区

尾形 清美さん(七十歳)

## あとがき

令和五年度定時総会では令和四年度の事業報告、令和五年度課題と事業予算が承認可決され無事終了しました。

今年度は役員改選期で、退任された理事・地区世話役・互助会の各役員の皆様には長年にわたり、山形市シルバー人材センター発展のために、ご尽力いただき有難うございました。今年度も、理事長はじめ新役員と会員並びに事務局が一体となり課題解決に向け邁進していきます。

また、広報部会も交代期で、新メンバーによる会報誌の発行を継続してまいります。皆様からの投稿を宜しくお願い致します。

五月八日より、コロナ対策が感染症法上の分類を5類移行やマスク制限の緩和で、人々が動き出し、旅行者の増加や各地の祭事が活発化しております。当センターでも、この三年余り多くの活動が制限されてきた会議・研修会や各催し物が復活され、以前にも増して活況されることを期待いたします。(S・H)